聯合會大會の決議に依る取引所法改正に關する意見書を提出し相當參酌せられたき旨陳情せり

●東宮御所御賜宴

東宮殿下には今三十日午後六時三十分より東宮御所御

參內御座所に於て天皇陛下に御謁遊ば御沙汰に相成りたる海軍砲術學校及び海軍水電學校卒業證書授與式の御模樣を復奏あり十一時御退出相成りたり

●政友首領晩餐會

西園寺內閣[illegible]十二月六日午後六時より[illegible]に於て晩餐會を催す事に決したり

●內務最終豫算會議

內務省に[illegible]局長及各局長書記官參事官一同

[illegible]にては過般模範桑園設置獎勵規程を設けたりしが今回大字茂木村字道上桑園一段十五步大字河原濱村字西屋敷桑園一段十步の二筆を同規程に依る模範桑園に指

[illegible]船山きく(二八)の四名を引率桐生町に出張

●沼田小學校長出張

沼田小學校長樋口千代松氏は同町高野助役高橋第一課長

[illegible]組に分ちたるが講師は樋口校長、織田首席訓導以下十一名なりと

●長野の品評會

群馬郡長野小學校同

●織物視察員の歸郡

群馬郡農會評議員間庭文造同技手五十嵐喜三郎の兩氏は織物視察として去月二十六日出發し滋賀縣長濱地方に至り同地方織物狀況を視察

●新入營兵の首途

人と旗との前橋驛

前橋市の新入營兵は豫定の如く孰れも昨日出發した是より先宇都宮及び東京習志野の各聯隊に入營すべき新入兵約三十名は親戚、朋友又は町內の人々に送られて午前六時半と云ふに市役所に詰め蒐けたとて表庭から前通り迄は人と旗を以て埋まるの混雜を呈して居る軈て一同頭揃ひとなるや各引卒係りの注意を聞き停車場に向つて出發した在鄉軍人會前橋分會旗を眞先に赤き白き又は紫なる旗を曉風にひるがへし是れに續く見送人は停車場より本町通りまで陸續として絕えない停車場に至れば勢多郡よりの入營兵も同時刻に出達するとて構內は元より驛前の廣場は人を以て埋まり中には鐵泉亭邊りを借受けて堂々見送人休憩所と貼札したのさへある七時三十六分先づ宇都宮行の一團から出發する萬歲を唱へる見送り人窓から半身を出して挨拶する入營兵割れる許りの騷ぎである次で八時廿八分東京方面の入營兵も華々しく出發した、斯くて暫く靜かになつた停車場も午後二時半頃より再び朝に增した雜踏を見た即ち高崎聯隊に入營すべき新入兵の出發ある故で右二十一名は二時市役所に集合し矢張り在鄉軍人以下の見送りを受けて萬歲聲裡に男らしい得意の笑みを洩して出發したのであつた

●長野村の開廳式

親和の實を擧げよ

群馬郡長野村役場開廳式は既報の通り昨三十日午前十一時より同役場庭前に於て擧行せられたるが式場には萬國旗裝飾紅提灯等を揭げ一同參列するや紋谷村長開會を告げ君が代の奏樂あり次で戊申詔書を拜讀し同役場新築に關する事務報告あり次で神山知事左の各告辭を朗讀せり

群馬郡長野村役場新築工竣り本日茲に落成式を擧ぐ抑も自治の基礎を鞏固ならしめむには主として住民の共同親和に待たざるべからざるや固より論なし然れ[illegible]吏員器に適し廳舍完きを得るにあら[illegible]ば其の基礎未だ以て鞏固なりと謂ふべか[illegible]らず本村此に見るあり協戮資を釀し新[illegible]廳舍を建築して執務の簡捷を計り以て[illegible]治の發達に資せむとす洵に欣喜に堪へ[illegible]望むらくは爾今以往益々共同親和の實[illegible]擧げ本日の盛擧をして克く終あらし[illegible]とを一言以て告ぐ

次で櫻田郡長の告辭、伏見高崎稅務署[illegible]吉田高崎署長、岡田縣議外同村選出郡[illegible]議員、隣村長、同小學校長、各種團体[illegible]代、小學生徒總代の各祝辭あり次に開[illegible]式の唱歌あり後紋谷村長の答辭ありて[illegible]を終り宴會に移りたるが餘興として[illegible]音樂隊等あり來賓としては前記諸氏の[illegible]に酒井屬、武井郡書記其他附近町村長[illegible]校長青年團体總代及び同村有志者等[illegible]餘名にして非常の盛況なりき因に同[illegible]場は工費千八百圓を要し內金千五百圓[illegible]岡田又八外四百五十五名が寄附し尚[illegible]六百人を同村井上茂平次外四百五十[illegible]が寄附して去三月起工六月竣工した[illegible]階建の瓦葺建築なりと

●義民の銅像建設

月夜野町民の美擧

今を去る二百五十年前利根郡桃野村大字月夜野町に杉木茂左衞門なる義民あり當時の領主が橫暴を極め苛斂誅求至らざるなきが上に更に井戶役、井戶稅、窓稅、婚姻稅、出產稅等を取り立て領民塗炭の中に苦しむを見て一身を擲つて之を救はんとし江戶に出府し當時の大老酒井雅樂守に駕籠訴を爲し又上野東叡山輪王寺宮に訴願を爲し自分は豫て覺悟の通り妻子諸共同村竹の下と稱する箇所に於て磔刑に處せられたるも百七十七ケ村の民は爲めに塗炭の中より救ひ出されたり爾來三百年茂左衞門の處刑せられたる刑場跡の下には三体の親子地藏あり誰が手向けるとなく朝夕香華の絕ゆるとなきが尙年を閱するに隨ひて其の事蹟の忘れ去らるゝを恐れ月夜野町の有志は此の程協議會を開き同氏義擧を長く後代に傳へんが爲め其の銅像及石碑を建設するとに滿場一致を以て可決したれば明春を俟つて工事に著手し竣工の上は盛んなる供養を營む筈

●新入營兵と高崎

丁の內今一日高崎步兵第十五聯隊へ入營するは別項の通りなるが右壯丁は昨夕郡市書記及町村兵事主任等に引率せられ高崎市に來り各旅人宿に宿泊したる事とて同市中は頗る賑ひなり又高崎驛より京宇都宮其他各方面への入營兵も昨日數出發したる事とて同驛は非常の雜踏を極めたり

●篠原神田氏入營

篠原本社長令秀吉氏は愈々昨卅日宇都宮六十六聯隊に向け出發せり是より先町內の人々及び社員一同は午前六時本社に集合して祝盃を擧げ何れも停車場迄見送り秀吉氏より場の挨拶あり一同萬歲を三唱する內に時三十六分出達せられたるが停車場に前記の人々の外各新聞社、弘道館員及知己朋友等山の如き見送人ありたり又社記者神田幸作氏は同日三時二十八分にて高崎に向け出發したるが是亦多數見送人あり萬歲の聲構內も割るゝ許りりき

黎都督公布の勸降告示

●四萬溫泉の紅葉

溫泉地とし知られたる吾妻郡四万附近は未だ紅葉名所として汎く知られざるも同地は今紅葉の見所あり溫泉の浴客既に歸りて季の賑はひなきも尙同溫泉取締所の調に依れば浴客七十餘名あり中にも山口館は十數名あつて何れも散步がてら附の紅葉を賞しつゝある由なるが向寒の節柄客次第に減じ深山寂として聲なく葉の散る茲數日が見頃なりと

●貴賓館の琵琶會

今回薩摩琵琶水會の永田錦心の門下なる青年琵琶彈家酒井幽泉渡邊星泉兩氏の來橋を期と來る三日午後一時より舊貴賓館に於て琶會を催す筈なるが發起者は本縣廳內半勸治、大須賀巖、諾摩淸秀、高村小治、岸本蔦次、新開潘親及び市長今鐵の諸氏なりと

●澁川の提灯行列

今一日午前八時より澁川町小學校にては開校一周年紀祝賀式あり夜に入りては尋常三學年以の生徒並に町の有志にて提灯行列をな運動場に勢揃をなし八幡社に至り參拜なしそれより各町內を隈なく順廻すべと又た煙花の打揚げあり近村よりの來者もあるべく盛觀なるべしと

●金五百圓を拾ふ

桐生町字安樂土村六三〇新井鷲五郎(三五)は廿九日午前十一時頃同町役場構內にて足利町織物買次商金井傳三郎代金井榮一郎振出足利銀行桐生支店渡し小切手金五百圓を拾得し直ちに桐生署に屆け出でたるが右は同日金井商店預金當座口へ得意先より振込みたる通知に接したる爲め受取らんと同家の小僧蛭間經吉(一六)を使によこしたる處未だ入金しあらざりしより遂に不渡となり持ち歸る途中納稅の爲め役場に立寄りたる際遺失したるものと判明し同店員に下渡されたり

●高橋憲氏歸鄕

高橋上州新報社長令弟憲氏は一年志願兵として高崎十五聯隊に入營中成績優良にて軍曹に昇進し今回除隊となり昨日午前十時五十二分前橋着列車にて盛んなる出迎へを受け歸鄕さる

●安中支所袂別會

碓氷郡蠶病豫防事務所安中支所は一昨日雇員全部の解散をなしたるが當日は茶菓にて袂別會を開き愉快に散會したり

●舘林の活動寫眞

東京日々新聞社巡回活動寫眞會は二日舘林町善導寺にて開催し同新聞愛讀者に無料觀覽さする由

●新田郡の入營者

新田郡より北海道第七師團へ入營する步兵十一名、砲兵一名は廿八日午前七時郡衙に參集し高橋書記引率の下に兩毛線足利驛發にて出發す

●澁川の新入營兵

澁川町入營兵(一年志願兵佐鳥新平(中野電信隊)中村袈裟松佐藤由五郎、橫手林三郎、松村亮一(步兵第十五聯隊)の五氏は昨三十日午後一時發高崎電車に搭乘入營の途に就かれたるに依り尙武會軍友會、町議、有志約三百名は見送りを壯にしたり

●伊勢崎驛の雜踏

伊勢崎町にては入營兵及び除隊兵の送迎の爲め院線及び東武線の兩停車場は非常に雜踏し伊勢崎署より巡查數名を出張せしめて警戒せると送迎旗數十流朔風に飜り壯觀を極む

●消火器の檢查

一昨廿九日澁川警察署にて消火器を檢查したるところ個數三十八にして內善良なるもの十九個用を爲さゞるもの三個修繕を要するもの十六個ありと

●慰問袋の謝狀

群馬郡新藤きよ外八十五名は過般愛國婦人會主唱にかゝる臺灣討蕃隊へ各慰問袋を寄贈したるが右に就て昨日阿部會長より同寄贈者に之が謝狀を又高崎市より同寄贈したる十名に對しても同謝狀を寄せられたりと

●學校へ樹木寄附

群馬郡中川小學校同窓會にては同小學校庭內へ枳苗千本(代金十五圓)を同村濱尻青年會員は同校へ桃木二十本(代金二圓)を各今回寄附す

●自轉車寄附

群馬郡中川村淸水勝太郎外五名は今回同村役場備品として自轉車一輛(代金五十圓)を寄附せりと

●病人を持扱ふ

市內一毛町四五瀧[illegible]與吉(三七)は三十五[illegible]二二神澤勝五郎方[illegible]社へ奉職する事こ[illegible](當時六歲)を一日[illegible]した儘何時まで[illegible]に勝五郎は不審を[illegible]たれど左樣の者は[illegible]事に餘儀なく養育[illegible]めて尋常科卒業後[illegible]期奉公に入れ置き[illegible]り病氣に罹り戾さ[illegible]行くのみなるより[illegible]柳町中根うめ方へ[illegible]入も謝絕したれば[illegible]前橋署へ說諭方を[illegible]

邂逅したらんにはアラマーふむーてな事で感慨無量の淚に咽んだであらう

●北甘樂の諸事業(二)

▲丹生村 に就て最も生命とするものは道路である此村は山間の狹地ではあるが米麥繭絲の產額も少くない然るに之れが交通路として稍々通じ得るものは一の宮上町に出づるもの丶外ないこれに就て又土木的眼光を以て見る處二條の道路がある其一は宮崎と前記上町との間の低地を開鑿するもので是れは先年計畫の處人道橋架設の事で不調となりしとの事なるが此道は丹生村に取りても最も捷徑たるは勿論工費も案外に要らぬと思ふ他の線路は大字宇田村へ出るのでこれは工費も極めて少額で濟むが多少迂廻たるを免れぬ寧そ貫前神社の直ぐ裏手を縣道へ出る道を取る方が多少工費は要すべきも將來の爲め如何程利益だか知れぬと思ふ又是等道路に使用せし道路費は必らず返濟されるとが明白である假令ば此道路改修の上は米麥共一俵に付運賃の三四錢宛安價となるべきは勿論なれば夫れ丈け米麥の値段が高くなり收入も多くなる譯け一万俵に付て三四百圓の差となり其外安き物を買入れ品物は高く賣れるとになる故二年三年經つうち知らず識らず大なる利益となる次第で是れは農家經濟としても大いに研究すべきとでありましやう丹生村には又縣有模範林があります縣は必死に經營せらるゝが一部志人間には異樣の批評を爲すものがある之れは兎も角も研究問題として豫期せし效果を得るや否や注意すべきものと思ふ尙一つ本村には本年卒先して共同苗代を作つたが世間の評判が大きくなり過ぎた嫌はあるが併しよい事故獎勵したいと思ふ

▲高田村 に就ては誠に云ひ惡いが前淸水郡長の時に高田妙義兩町村に亘る高田川の沿水地を昨年の洪水被害を機會として一大耕地整理を計畫せしも遂に不調に終つた元來本村は耕地整理には不適だと思ふ第一地勢が許さず第二に各土地に相應の階段……高低を有し排水灌漑等にも不便なく且つ土地錯雜の程度も少なき故耕地整理を爲す必要も其一半の理由を失つて居る兎に角地勢が許さぬといふとは確かである乍去河川兩岸を整理し一定の方線を設ける事は每年水害を受ける上より見て最も適切な事でありましやう

▲妙義町 は有名なる妙義山があるにより僅かに名を知らるゝも之れも單に骨の出た山が無造作に在るばかりで外に趣味がない之れだけでは見物に來た人も直ちに歸つて仕舞ふ樣になる故何とか他に相當の設備を爲し客足をとめる方法を講じたく思ふ私は未だ實地を知らねば斷言出來兼ぬるも大字菅原村に一つの鑛泉があつてこれは今日何の風情もなき由なれどせめて之にても改善して妙義山の風景に相對せしむる樣なれば妙義町今日の情況より多少發展しはせぬか幸に實地踏査の方あらば研究せられんとを望みます

北西の風弱く晴なれども一時曇らんとする模樣あり

登記公告

產業組合登記簿第壹册第貳號

一、有限責任信用販賣組合下仁田社矢川組登記事項中明治四拾四年九月貳拾日臨時總會ノ決議ニ因リ左ノ通リ變更ス

一、名稱 有限責任信用生產販賣組合下仁田社矢川組

一、目的 組合員ニ蠶絲業ニ必要ナル資金ヲ貸附シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト

一、製絲機械ヲ備ヘ之ヲ組合員ニ使用セシメ又ハ組合ニ於テ加工スルコト

一、組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生產シタル生絲ヲ加工シテ販賣スルコト

一、出資一口ノ金額 金五拾圓

出資拂込ノ方法

出資第一回拂込金額ハ壹口ニ付金五拾圓以上トシ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外組合員ハ理事ノ指定スル方法ニヨリ拂込ムコトヲ要ス

右明治四拾四年拾壹月貳拾七日登記ス

富岡區裁判所
下仁田出張所

廣告（廣告主へ御用の節は上毛新聞紙上御覽の旨御申添へ下され度候）

謹告

昨朝出發の際は御繁忙中にも不拘態々御見送り被下候段難有奉感謝候隊號等は追て詳報可仕候得共不取敢御禮申上候 敬具

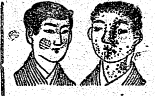
十二月一日

篠原秀吉
神田幸作

篠原秀吉
神田幸作

右昨朝出發の際は態々御見送被下候段奉深謝候不取敢以紙上御厚禮申上候

上毛新聞社



梅毒りん病全滅藥
賢難症も全快根癒せし者數多あり實に不思議の奇効藥なれば同病者に其實効と價を告げたし望の方は往復ハガキにて申越次第詳報す
○武州南葛飾郡八右衛門新田 大澤米吉

どもり
本會直接及通信矯正の盛況を知らんと欲せば今回發行の會報及附錄第九號を見よ送費共郵劵五錢要す
○大阪江戶堀下通參丁目 帝國吃語矯正會

吾妻郡中之條 蓬萊館
壹等旅館 福田屋
電話三六番 電略(フク)

除隊兵士ニ急告ス
本會は製藥給與賣藥請賣及行商に從事せしめ自活の道を立てしむ除隊早々就職の道なき士は申込詳細規定送呈す
東京市下谷區西町三番地
帝國獎武授產會

判斷
九星家相方位身の上吉凶
竪町白子屋紙店裏通り
神明町三十一番地東京出張
當分滯在判斷御依賴に應す判斷的中せさるときは料金不申受
玉龍堂誌

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。